

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年12月25日更新

事務事業名	指定管理候補者選定事務		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1 自治の健康	所属部	総務部	課長名 吉村 幸一
	施策	2 行政改革の推進	所属課	財政課	担当者名 林 かおり
施策の柱	12	公有財産の管理運営	所属班	契約管財班	(内線) 1244
予算科目	会計一般	款 2 項 1 目 7 事業連番 11600 根拠法令	地方自治法244条の2第3項 合志市公の施設の指定管理者の指定の手続等		成果優先度評価結果 : - コスト削減優先度評価結果 : -
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 28年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 28 年度) ~ <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	公有施設において指定管理を行なう際の指定管理候補者選定に関する事務である。平成28年度の指定管理候補者選定対象施設は合志市立図書館(新規 平成29~31年度)、ふれあい館(更新 平成29~33年度)、老人憩いの家(更新 平成29~33年度)、みどり館(更新 平成29~30年度)の4施設である。いずれの施設も非公募での選定である。指定管理候補者選定委員に外部委員を選任することとなり、それに伴う経費(報償費)が発生する。
【業務の流れ】	選定委員の選任→選定委員会の開催(3~5回程度)→指定管理候補者の選定→市長への報告→指定管理候補者の決定(担当課への報告)その後、担当課において、議会の議決を経て、協定書の締結等を行ない、次年度4月1日より施設の指定管理が始まる。
【主な予算費目】	外部選定委員の報償費(役職等により1時間あたり5,000円~10,000円で設定)
【意見や要望】	選定事務において透明性・公平性を確保するために、内部委員だけでなく、学識経験者等の外部委員による審査が必要である。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	平成28年度は選定委員の選任、選定委員会の開催(全3回)、募集要項・審査方法等の検討、指定管理候補者の決定、市長への報告(担当課への報告)を行った。	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		平成29年度は指定管理候補者選定の対象施設がないため、委員会開催等の予定はなし。ただし、平成30年度に指定管理候補者選定の必要がある施設(2施設)があるため、事前打ち合わせを行なう予定だが、もともとの予算が報償費のみなので、H29年度の予算は伴わない。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 指定管理候補者選定委員会開催回数	→ イ:	指定管理候補者選定委員会の開催予定がないため、開催に伴う費用の減。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	指定管理申請者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 者
		→ ア: 指定管理候補者申請者数
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	審査基準に沿って、指定管理候補者を選定できる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) %
		→ ア: 指定管理候補者の決定率
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
指定管理候補者を選定する事務事業であるため、選定の決定率を成果指標と設定した。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度	28年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	回		0	3	3	0	3	3	3
	イ									
② 対象指標	ア	者		0	4	4	0	2	1	2
	イ									
③ 成果指標	ア	%		0	100	100	0	100	100	100
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円		360	296	0	360	360	360
		(A) 事業費計	千円	0	360	296	0	360	360	360
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	5	2	0	0	0	0
延べ業務時間	時間	0	0	70	0	0	0	0		
(B) 人件費計	千円	0	0	0	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	360	296	0	360	360	360		

事務事業名	指定管理候補者選定事務	所属部	総務部	所属課	財政課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 対象4施設すべてにおいて指定管理候補者の選定ができた。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成29年度は指定管理候補者の選定の対象となる施設がないため、該当しない。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 指定管理候補者選定の必要がある年度のみ目標設定なので、成果の向上余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に統廃合・連携のできる事務はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理候補者選定に必要な最低限の予算を計上しているため、削減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 想定される範囲での最低限の人員で計上しているため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 指定管理候補者選定に関する事務として、受益者負担を強いるような事務ではないため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の所有する施設の指定管理候補者選定事務のため、市が実施すべき事務である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

平成28年度においては、合志市立図書館(3館)、ふれあい館、老人憩いの家、みどり館の4施設について、指定管理候補者を選定した。指定管理候補者の選定は原則として公募して行うことになっているが、今回は施設の特性等を考慮し、非公募での選定を行った。選定業務における透明性・公平性を確保するために、外部委員に学識経験者等5名を選定、委嘱を行った。また、審査においても、提出された指定申請書を基にプレゼンテーション審査を行い、指定管理候補者として適切な団体であるか、審査を行った。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						